

工事常識 材料の研究と着眼点

建築材料見積の研究 (7)

林 有 一

本號より南洋材の解説に入ります、特にラワン材は家具、建築、土木方面にも盛んに使はれてゐます、尙ほ米材の大團圓として運賃及び材質規程の概念を以てします。(編者)

米材の運賃

日米間主要航路の海運賃は	
大正 十年	15.00—10.00
同 十一年	15.00— 9.50
同 十二年	16.00—11.00
同 十三年	14.50— 7.25
昭和 四年四月	8.50

運賃の單位は千呎である(日本の八石三三) 千呎はボードメジニアで千平方呎厚一吋、ボードメジニアの單位は一平方呎厚一吋である。

横濱東京間の運賃——木材を積んで横濱へ入港する船舶は、大概港内に於て荷役をするが其際假りに筏に組んで、緑町、高島町地先の公有水面や其他に繋留せられ、更に東京へ廻漕の分は組直しの上、天候の良否を見定めた後、曳船で曳出される。

横濱東京間九里	筏運賃一噸ニ付
米 松 大 角	1.70—1.60
米松打込丸太	2.30—2.20

〔輸入丸太等級規定〕 米國及カナダ産米松、米杉、米檜、米樅、米榎、米樺及其他の丸太を日本向輸入する場合は、總て本規定により等級を附するものゝす、前記日本向輸出材は本規定により、太平洋木材検査局に於て検收の上検査證を附するものゝす。

〔一般規定〕 總て丸太は外面の瑕疵によりて等級を附すべきこと、總て丸太は通直、平滑にして生木より伐採せるものなるを要し、烈しき根張過度の搥れ不良なる入皮 烈しき心

割及過度の目廻なきものなること。

焼損木、焦木、枯死木、缺損木、割裂材、虫孔材、虫溝あるもの及び甚しき變色材は許さず。

延は3吋以上あることを要し、節は平滑に落し、丸太の兩端は直角に切りあるを要す。總て直徑は皮を除き測定するものゝす。根孔及び心腐は末口平均直徑19吋及び以下の丸太に於ては許されず、末口平均直徑20吋及び以上の丸太に於ては、中央平均直徑の四分の一は差支なし、而して之が一木口に現はれ居る場合には、全長の半分あるものゝ見做し、兩木口に現はれ居る場合には、全長あるものゝして最も巾廣き部分にて測り、其だけの直徑あるものゝして其容積を算出歩引すること、但し長さ13呎未満に於ては一木口にのみ現はれ居るものゝ雖も、全長あるものゝして歩引すべきこと、皮節、籠節、猿喰等も節と見做すこと。

總て丸太は其大小一般的性質及び製材の目的を考慮に置いて等級を附すること。

長及直徑は買主に於て之を指定すべき事、但し末口直徑を指定せざりし場合には、賣主は No. 1 として末口直徑18吋以上、No. 2 として末口直徑12吋以上、No. 3 として末口直徑12吋以上あるものを供給すべきものゝす。

〔一等丸太 No. 1〕 四方無節又は三方全く無節なれば、一方に限り直徑1吋迄の生節は差支なし、尙末口直徑23吋以下の丸太に在りては三方全く無節なれば一方に限り直徑2吋迄

の生節3呎に付一個を限り許し、同じく24吋以上の丸太にありては三方全く無節ならば一方に限り、直徑3吋迄の生節3呎に付一個を許す、但し本等級に限り變色及び目廻材を許さず、其他の一般瑕疵の認容程度は前記一般規定によるものごす。

〔二等丸太 No. 2〕 直徑1吋以下の生節は各方面にあるも差支へなき事、徑20吋及び以下の丸太にありては、一方に限り直徑2吋迄の生節3吋に付一個を許し、21吋及び以上の丸太に在りては、一方に限り直徑4吋迄の生節3呎に付一個を許す。

本材よりはリリーヤ級挽材25%マーテカントブル級挽材50%、コンモン級挽材25%得るを標準とし、其他の瑕疵の認容程度は前記一般規定によるものごす。

〔三等丸太 No. 3〕 直徑2吋以下の生節は各方面にあるも差支なき事、一方に限り2吋以上4吋迄の節3呎に付一個を許す。

本材よりはマーテカン級挽材75%コンモン級挽材25%を得るを標準とし、其他の瑕疵の認容程度は、前記一般規定によるものごす。

さて以上で大體米材に關する説明を了した積りであるから、次に南洋材の研究に進む事にする。

南 洋 材

臺灣の南方100哩を隔て、比律賓群島がある、大小七千に餘るこの群島の全面積十一萬四千三百五十六平方哩、その内ルソン島最大で面積四萬八百十四平方哩を占む。

豐太閤時代我邦人がルソン島に占據した事實は、マニラ舊城内の遺物によつて知ることが出来る。

比律賓群島は元來西班牙の領土であつたが西曆千八百九十八年の米西戦争後、米國領となり其後ウイルソン大統領によつて自治が許され今日に及んでゐる。

比律賓人は東洋人中獨特な混血兒で、西班牙人の血が多く這入つてゐる、米國が領有して後は教育一般に普及された、人口約千萬人

中在住外國人種は米國六千九百人、西班牙國四千二百人英國千二百人、支那國五萬五千人日本國一萬二千六百人を算すこいふことである。

山林の蓄積量——比律賓群島内山林の全蓄積量十六億六千萬石で、闊葉樹が多くその75%はラワン屬が占め、ルソン、ミンダナオ、バラソン、ニグロス等の丘陵地帯に繁茂する我日本に輸入する南洋材は、専ら比律賓群島に産出するもので、大部分がラワン材である他種の材までもラワンと稱して、市場に販賣せられてゐるほぎの状態である。

比律賓の首都マニラでは、市場販賣價格の單位を米材と同じく1,000 B.M.に規定する。

(1,000 B.M.は我8.33)

挽材の價格(マニラ市場に於て)(1 ^{ベツ}ベツ約1圓)

白	ラ	ワ	ン	90—100 ^{ベツ}		
赤	ラ	ワ	ン	100—110 ^{ベツ}		
	タ	ン	ギ	ー	ル	100—100 ^{ベツ}
×	ラ	ム	バ	ヤ	オ	120—130 ^{ベツ}
×	これはラワンよりも上等材で木肌緻密木質優美、建築材としても家具材としても適當である。					
	ア	ピ	ン	ト	ン	100—110 ^{ベツ}
	バ	ロ	サ	ピ	ス	110—120 ^{ベツ}
	マ	ル	ガ	イ		110—120 ^{ベツ}
	ギ	ボ	ー			130—160 ^{ベツ}
×	ナ		ラ			300—400 ^{ベツ}

×

これは比律賓群島で尤も普通に知られてゐる家具材で、赤黄色や濃赤色等種々あつて何れも材質強硬、高級家具や建築裝飾材として用ゐられる。

×

イ

ピ

ル

260—290^{ベツ}

これは暗赤褐色で、材質硬く強靱、耐久力や耐濕力に富む。

×

テ

ン

ダ

ロ

ー

150—500^{ベツ}

これはナラの赤色材に似て、縦縞木理美麗である。